

時 一 第 (巨 元 其 終 之) 大
に 4月28日、福生市商工
で 会館で行われた。
時 齋藤支部長は「剃刀

り、空き店舗の活用、朝
てして都の補助金を活用
ノード撤去事業など
り組み、マミーの再生、
に尽力している。

◇ 店の看板メニューは「若
ゆ揚げ」(100号19
。大山鶏と菜彩鶏の肉
川のお醤油店と関西の
醤油、高知のショウガを
ドして味付けし、コレ
ロールゼロの油で揚げる。
揚げを買いに、多くの固
ンが通う。
米の2番人気は「自家製
まコロッケ」(87円)。
豚と赤城豚を使い、脂身
して北海道ジャガイモと
カツオだしで味付けし
りたコロッケは「ソース
で食べられる」と評判だ。
10時〜午後7時30分、
休、羽村市富士見平2-
120・40・7789

維持してきたことが知ら
れていない。美容業界
を守るためにも組織強
化が必須」とし、「美
容・エステティック業
界との競合など、経営
状況の厳しさは変わら
ない。さまざまな業界

起業家招き、記念研修会 多摩経営者クラブ



「病気とともに転機が訪れたことに感謝します」と小池さん

一般社団法人多摩経営者クラブ(岡野哲史代表)は4月15日、豊島区東鴨で訪問美容事業

業を立ち上げた小池由貴子さん(豊島区東鴨)を講師に迎え、コミュニティビジネス(CB)創業の話や美容師研修会をあげる野ルピアで開いた。

「笑顔あふれる毎日をお届けする訪問美容事業」と題した講演では、13年夏に「ソーシャルビジネスグランプリ」(社会起業大学主



「組合のデータベー展開をサポートしたい」

！物産・逸品見本市」を開催する。
昨年延べ5万2千人が来場した同見本市は都内各地の和洋菓子、惣菜、ハムやチーズ、製麺などを即売。昨年に引き続き東北地

れるが、同社は80%と他を圧倒する。
子育て中の母親がゆっくり過ごせる託児付で、高齢者には車椅子で入れる美容室も開業した。一方で、離職後復帰率が低い美容師の実態にも注目。熟練の技術と介護知識を兼ね備えた人材の養成も目指している。

催)を受賞した小池さんの事業立ち上げの奮闘が語られた。
脱毛症の祖母の髪を手入れた時の喜びが原動力になって美容師になった小池さんだったが、多忙な中で仕事は流れ作業となり、満足にお客と会話すらない日々が続いた。

小池さんは28歳で難病にかかり、床に臥せていた時、友人にわずから5分の前髪を切ってもらっただけなのに、心に変化が生まれたことを実感した。病を乗り越えた小池さんはその後、「生きる喜びを再生する訪問事業」として訪問美容とコミュニ

「いつか訪問美容がスタンダードになり、『と和』の理念である、お客さまと美容をつなぐ、和みの時間を過ごしていたたく美容師が西多摩にも生まれるよう頑張ります」と小池さんは決意を込めた。

あつという間に 1日で快滴た

二連片眼 女性